

10月度 例会 個人 山行報告書		報告者	大矢	参加メンバー	CL 大矢(単独)					
山域	兵庫県・鳥取県	山行日	2025.10.20(月)							
山名	氷ノ山									
山行目的	加藤文太郎が遭難しかけた山域の現地検証			コースタイム(天候:天気図記号)						
ルート図(地図を見て正確に) 加藤文太郎が遭難しかけた三ツヶ谷山(青ヶ丸)へ 県境稜線 										
10/20(月) 小雨が続く 6:00 レンタカーで豊岡発 7:00 福定親水公園着 7:16 福定親水公園発 8:06 地蔵堂 9:16 氷ノ山越 木道が続く 西日本で唯一の高山湿地帯の保護のため 10:10 氷ノ山 気温10°C, 北の風3m. ガスで眺望きかず 10:38 発 11:06 神大ヒュッテ 12:08 東尾根避難小屋 12:18 東尾根登山口 12:55 福定親水公園										
25万分の1地図 氷ノ山	<山行報告>									
19日は豊岡を通り越して、単独行登山家の加藤文太郎の故郷の浜坂まで足を伸ばす。加藤文太郎記念図書館で愛用のスキー板・ピッケルを見学、そこから徒歩15分の所にある加藤文太郎・花子のお墓には、「北鎌尾根ニテ遭難ス」と刻まれている。 20日は朝から小雨が続く。登山口を間違えて通り越してしまい、途中でUターンできず氷ノ山国際スキー場から引き返したため出発が少し遅れる。その間に一台の車が停まっていた。1時間登ると、加藤文太郎が遭難しかけた1932年3月20~22日の前日に仮眠を取った地蔵堂に着いた。この地蔵堂は加藤文太郎自身による「単独行」や新田次郎の「孤高の人」にも登場する。 朝の予報では15時頃から風雨が強くなりそうだったので、極力休憩を取らず、こまめに行動食を取りながらひたすら先に進む。紅葉にはまだ早いが、落ち葉のカエデは紅葉して綺麗。しかし熊が好むというドングリが沢山落ちているのには閉口した。前日にNHKニュースでやっていたが、キノコ狩りの人の被害が多いのは、キノコとドングリが同じ場所に生えているからだそうだ。平日のためか周囲に誰もいないので、腰にぶら下げた熊鈴を振って鳴らしながら歩いた。 さらに1時間で県境稜線の氷ノ山越に出た。稜線の向こうは鳥取県だ。ここから整備された良い道を250m登ると氷ノ山頂上。誰もいないと思いきや避難小屋には5人の登山者がいた。いずれも鳥取県側(コースタイムは短い)から登ってきたようだ。ピークでセルフ写真を撮った後は、小雨のうちに東尾根から下山。加藤文太郎が遭難しかけた県境稜線がガスで見えなかつたのが残念。										
<リーダー所見>										
天気は良くなかったが、加藤文太郎のお墓にお参りしたり、冬型気圧配置になると日本海側ではこのような天気になるということを実感できて良かったと思います。兵庫県最高峰の氷ノ山は良い山で、加藤文太郎が何度も登った理由がよく分かりました。										

氷ノ山山頂避難小屋



山頂のケルンでセルフ写真



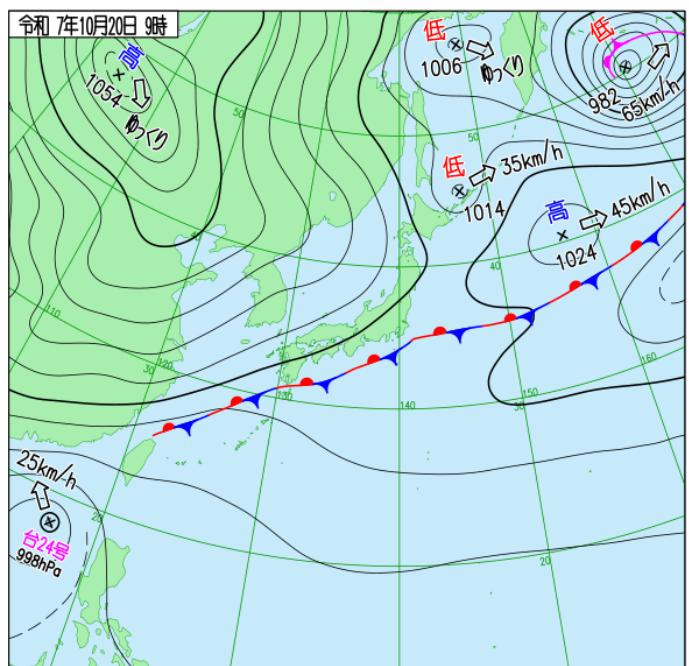
加藤文太郎・花子夫妻のお墓

「北鎌尾根ニテ遭難ス」と刻まれている



2025.10.20の9時の天気図

日本海側の山は冬型気圧配置になった



シベリア高気圧の中心気圧は1054hPaで強い
この中心気圧は寒気の強さを表している